

団 体 ヒ ア リ ン グ 内 容 (8 団 体)

団体名	龍ヶ崎市スポーツ協会
1. 活動（事業）を行う上での課題・問題点	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校体育における運動部活動が社会体育として地域へ移行するという流れは、総合型地域スポーツクラブとの連携も考えられるが、スポーツ協会として地域へ移行するまでどのように補完していくかが課題である。 ・運動部活動を地域へ移行するということは、指導者の確保が難しい上、指導者への謝礼等、金銭面での課題があるだろう。 ・まずは、土日の運動部活動を地域へ移行するというのが課題である。それをサポートすることがスポーツ協会での当面の課題だろうが、土日だけの指導では指導方針に一貫性がなく難しいだろう。 ・現状では、スポーツ協会が指導者講習会等を実施し、指導者の資質の向上や育成することで、学校教育における運動部活動をサポートしていく方がベストだろう。 ・県大会のような規模の大きい大会を開催するには、大会の会場確保がどの市町村も困難である。ソフトボールでは6～7面の球場に駐車場・トイレの確保が必要であるが、どの球場も駐車場の利用台数がほとんどない。また、たつのこスタジアムも年間予約で埋まっているため、土日の予約がしにくい状況である。 ・たつのこフィールドは、年間で流通経済大学運動部のリーグ戦が優先予約されている。市内のスポーツ団体が土日の大会を開催しようとしても、予約しにくい状況であるため、スポーツ協会加盟団体の優先枠を設定してはどうか。 ・たつのこアリーナの土日は、大会開催で予約がいっぱいである。 ・野球協会では市内大会を開催しているが、年々、市内の参加チームが減少している。参加しやすいように大会の運営方法を見直すことも検討しなければならない。 	
2. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の現状について	
<ul style="list-style-type: none"> ○評価できること、満足していること、継続していきたいこと 等 <ul style="list-style-type: none"> ・総合運動公園施設（アリーナ・フィールド・スタジアム）が充実している。 ○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等 <ul style="list-style-type: none"> ・小貝川、大正堀川、北竜台等のグラウンド整備状況や付帯設備等の状態が悪い。 	
3. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の充実に向けて（今後の方向性）	
<ul style="list-style-type: none"> ○期待すること、要望、アイデア 等 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模大会を開催するため、小貝川運動場の駐車場拡張とトイレの整備をしてほしい。 ・大規模大会を開催するには、市内体育施設だけでなく学校施設を利用しても可能である。学校施設を借用する際に、スポーツ協会加盟団体の仲介として市が手続きをするシステムが構築されていれば良い。 ・城南中学校と愛宕中学校の統廃合や北竜台地区の学校統廃合にあたり、地域スポーツの振興として、体育館を競技団体の練習場所または大会会場として活用するため開放してほしい。 ・たつのこアリーナの土日は、大会開催で予約がいっぱいであるので、たつのこアリーナのような大きな体育館がもう一つあると、各競技団体の活動が充実する。 ・水泳協会として、たつのこアリーナで学校プールの指導を行っている。たつのこアリーナでプール授業を行う学校が増えているため、良い時期の取り合いになっているようである。スポーツクラブのような民間プールの活用をすべきだと思う。 ・次代を担う青少年の育成に力をいれてほしい。スポーツ少年団の指導者育成支援や中学校運動部活動における地域スポーツへの速やかな移行等、競技者人口の減少を止める取り組みをお願いしたい。 	

団体名	龍ヶ崎市スポーツ少年団本部
1. 活動（事業）を行う上での課題・問題点	
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団全体の問題として、少子化の影響もあり、団員数が減少している。 ・団員の卒団とともに、指導者の親もやめてしまう事が多く、指導者の確保が難しい。 ・団員募集チラシを小学校に持って行った際に、配布を断られたところがあると聞いたことがある。 	
2. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の現状について	
<p>○評価できること、満足していること、継続していきたいこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市による広報誌やホームページへの記事の掲載、学校へのチラシ配布など団員募集の協力はありがたい。 <p>○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の統廃合によって、今まで練習してきた場所が利用できなくなる可能性がある。（特にレスリングについては愛宕中学校にレスリングマットが常設しており、施設が利用できなくなると練習場所に困ることになる） ・学校施設を利用し練習を行っているが、競技備品が古くなってしまっているため、市で購入するなど対応してもらいたい。 	
3. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の充実に向けて（今後の方向性）	
<p>○期待すること、要望、アイデア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校に進学すると、今まで行っていた競技の部活動がないことがあるため、卒団後も継続して同じスポーツを行っていけるような環境整備が必要である。 ・流通経済大学と協力し、施設の利用やスポーツの指導などが行えるようになるとよい。 ・夜間開放の開始時間がもっと早くなると活動の幅が広がると思われる。（交流大会について） ・交流大会については、団対抗の競技となっているため、より交流を図れるよう、内容（レクリエーションやパラリンピックの競技を取り入れるなど）を見直してもよいのではないかと。 ・より多くの団が参加できるよう開催時期を見直す必要がある。 ・マラソン大会に交流大会を統合してもよいのでは。 ・各団員の交流を深める目的であるため、団対抗の競技内容を見直してはどうか。 ・開催種目によっては、有利となる団もあることから、パラリンピックで採用された競技などを行ってもよいと思われる。 ・交流大会については継続していきたいが、開催内容を見直してもよいと考える。 	

団体名	龍ヶ崎市レクリエーション協会
1. 活動（事業）を行う上での課題・問題点	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、大会運営が一番の課題である。新型コロナウイルスの影響により、大きな大会を開催することができず、龍ヶ崎市内で活動する方を対象に小規模な大会を開催した。また、たつこのアリーナがワクチン接種会場をなっているため、日曜日の大会は北文間体育館で開催した。 ・高齢化という理由もあるが会員が12名である。誰にでもでき、音に合わせて体を動かす楽しさやそれが健康維持につながることを、もっと積極的に広報紙等を使って周知しようと検討している。 ・活動場所の確保が困難である。毎回、会場の手配が先着順で大変であり、1か月分をまとめて予約できるようにしてほしい。例えば、つくば市は2か月分を一度で予約が可能である 	
2. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の現状について	
<p>○評価できること、満足していること、継続していきたいこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市の行事もすべて出来ないため評価はできないと思う。 <p>○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でもできるスポーツの推進ができていないと思う。 ・地域によっては、マラソン大会を行っているので、時期を変えて小さくても良い大会ができれば良いと思う。 	
3. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の充実に向けて（今後の方向性）	
<p>○期待すること、要望、アイデア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進のための予算を確保し、用具の整備等の支援を行うことで各スポーツ団体が活性化するのではないかとと思う。 ・フォークダンスの初心者入門講座を開催してほしい。 ・どんな団体があって、どんなことをしているのか、市民に知っていただいてやってみようというきっかけをつくるのが大切である。各団体の活動を、市ホームページや市役所のモニターで動画配信し紹介する機会があればと思う。自団体であれば、11月3日に開催されるレクリエーションまつりの様子を配信してみてもと思う。 	

団体名	龍ヶ崎市スポーツ推進委員協議会
1. 活動（事業）を行う上での課題・問題点	
<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツの普及活動については誰もが身近にできるスポーツとして、ワーキンググループを中心に様々な検討を重ね「まいりゅうコロコロ」を発案し、推進委員内での PDCA のサイクルを回しルールを確立した。検討した龍ヶ崎独自のニュースポーツを普及する課題として、様々な市民の意見を反映させるためには、身近な施設であるコミュニティセンターを中心とした普及活動が必要であり、行政側とコミュニティセンターの連携が不可欠となる。また、コミュニティセンターの稼働状況によっては、ニュースポーツを普及する講座が実施できない可能性や、各地区で普及するための用具の調達する費用はどうするのかが問題である。 ・インディアカを普及したときは、小学校単位で普及活動を行った経緯がある。コミュニティセンターの利用者は高齢者が多く、ニュースポーツを親子のような若い世代へ普及することも重要だと考えている。 ・スポーツ推進委員がどのようにしてより多くの市民、地域に対しニュースポーツを普及していくかが課題である。 	
2. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の現状について	
<p>○評価できること、満足していること、継続していきたいこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団、流通経済大学の連携は、ある程度できている。スポーツの普及活動において高いポテンシャルを有している各団体の役割を明確化するとともに、更に連携を強化したい。 ・流通経済大学の学生やNPO 法人クラブ・ドラゴンズが、市内学校における持久走大会等のスポーツイベント運営に協力しているところは、大変良いことだと思う。 <p>○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合運動公園の施設は市民が一堂に会するイベントには必要不可欠な施設であるが、一方で施設から離れた住民、特に交通手段のない人にとっては利用ができない。今後、地域ごとに小規模でもよいからスポーツのできる施設の設置が必要である。 ・たつのこアリーナの利用が多く予約が取れない状況であり、活動する場として廃校後の体育館を含め小規模な体育館でも良いので整備してほしい。また、たつのこアリーナができる前は、流通経済大学が体育館を開放してくれていた。 ・他市町村でマラソン大会を開催しているので、マラソン大会のような今までにない大会を開催してほしい。 ・現在、スポーツ推進委員の研修として様々なニュースポーツを学ぶ機会がないので、新しいスポーツ推進委員も加入しているおり、育成する意味でも研修の機会をつくってほしい。 ・スポーツに関する情報提供の仕方が下手である。 	
3. 龍ヶ崎市の「スポーツの推進」の充実に向けて（今後の方向性）	
<p>○期待すること、要望、アイデア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査によれば今後のスポーツ振興施策として必要なことは <ol style="list-style-type: none"> ①誰もが気軽にできるスポーツ施設の充実（60.7%） ②年齢にあったスポーツの開発、普及を進める（38.8%） ③スポーツ行事、大会、教室などの充実（24.2%） これを受けて「何時、何処で、どの様な」スポーツができるのか周知してもらうため、広報紙のみならず、ホームページ等により PR 活動を行う必要がある。 ・新型コロナのワクチン接種予約のため、市の公式ラインアプリをダウンロードしている市民が多いと思うので、スポーツイベント等の情報をラインに掲載すれば市民の利便性が向上するだろう。また、考案したニュースポーツの動画配信などインターネットを活用した周知をしてほしい。 ・スポーツ推進委員はニュースポーツを推進する役割を担っているので、いろいろなニュースポーツを学び龍ヶ崎独自のニュースポーツを検討しながら、より多くのニュースポーツを推進していきたい。 ・新しいスポーツを普及するには、用具が必要になるため予算措置をお願いしたい。 	

団体名	流通経済大学スポーツ健康科学部
1. 龍ケ崎市の「スポーツの推進」の現状について	
<p>○評価できること、満足していること、継続していくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーフマラソン大会については継続してほしい。コロナ禍であるため、人数を少なくしても開催することが大切で、徐々に規模を大きくしていく中で大会を応援する地元の方も増えるだろう。 <p>○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行のスポーツ推進計画の施策は、「龍ケ崎ならではの」という独自性が欠けている。 ・龍ケ崎市民にとっての健康とは何なのか？それに対する指標がなく、最終的な目標値と連動した施策が見えてこない。 ・大学生が市内小学校へ派遣されているが、子ども達にとってどのような影響があるのかを考えるべきであり、子ども達に何が残るのか疑問である。 ・ハーフマラソン大会におけるAED隊を学生ボランティアで運営する予定であったが、救えない命に直面した学生のサポート、スポーツボランティアの効果など、マネジメントをどこまで行っているのか疑問である。 ・運動教室に参加した市民の方から流通経済大学との関係を希薄に感じるような声を聴き残念である。 ・市民がもっと大学に親しんでもらうため、大学のパーク化構想を検討しているが、その中で市民と大学との交流ができていない、市との連携ができていないという意見が出ている。 ・新型コロナウイルスの影響により、やろうと思ってもできない事が多いため、評価することはできないと思われるが、できなかった事をできるように検討し直すことが重要である。 	
2. 龍ケ崎市の「スポーツの推進」に向けて（今後の方向性）	
<p>○期待すること、要望、アイデア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍ケ崎市民の健康指標を議論し、その指標の目標値を達成するための運動・スポーツ面からのアプローチを考え、流通経済大学の専門的知識やボランティアをどう繋げるのかを検討すべきである。 ・市民のQOLをいかにあげるのか？市民ニーズにあっているのか？など、メインとなるアウトカムを定め最終ビジョンを描いたうえで、施策の検討を行うべきである。 ・コロナ禍であるため事業ができないから何もやらないではなく、別のアプローチで指標の目標を達成し、市民の健康の向上につなげるべきである。 ・大学ならではのエビデンスのある運動に関する情報を提供すべきであり、より多くの方へ伝える手段としてインターネットや広報紙を活用する必要がある。 ・マイナースポーツで宿泊を伴うような大会を誘致すべきである。あるダンスの大会は約2,000人が1週間の大会期間にその会場地に宿泊し、まちの活性化に寄与している。 ・障がいを持つ子ども達へ運動・スポーツをする機会の提供として、スポーツコミュニケーション学科の学生が療育施設でダンス指導を行うことはとても良い経験になるので、実施してみたい事業である。 ・令和4年4月にダンス部が新設されるので、既存施設を活用し誰もが気軽に参加できるダンスイベントを開催するなど、活動に力を入れ、ダンスを通じた活動を行いたい。 ・茨城国体の国体ダンスは、県内における小学校の運動会で採用され多くの小学生が踊ることができたため、子ども達のコミュニケーションを図るのに有効であった。龍ケ崎にも龍ケ崎固有のダンスがあると地域の活性化につながるのではないかと。 ・子育て世代の支援として、子どもの預かりサービス備えたイベントの開催をお願いしたい。日曜日に託児サービスを実施している施設がないので、特に子育て世代の女性にとってスポーツ大会や教室などに参加するにはハードルがある。 ・旧北文間小学校を拠点とした小貝川・利根川・牛久沼へのサイクリングは、とても環境が良いと思う。旧校舎にシャワーが完備されているとさらに利便性が向上し活用されると思われる。 ・健康づくりとして牛久沼を活用すべきである。事故の問題があり難しいとは思いますが、泳げるスペースを海外のように設置したら日本初となりインパクトがある。 ・牛久沼での事業は、龍ケ崎ならではのものとなる。その中で、トライアスロン大会も可能である。 ・スポーツで活用されると、訪れる人々がまちをきれいにするようになるなど、まちの活性化につながるので、牛久沼も人々が運動・スポーツを通して訪れるようになったら良いと思う。 ・湯ったり館の活用にぜひ取り組んでほしい。施設の整備状況も良く、立地としても近隣の稲敷市に観光施設があり、親子で訪れるにはちょうど良い。また、小学生を対象に運動・スポーツ・遊びを通して、体力やメンタル面での向上を目的とした1泊2日の合宿を実施したらどうか。子ども達にっらいけど頑張った先に感じる達成感などを味わってほしいと思う。例えば、大学の部活単位で企画・運営を行うと良いのではないかと。 ・トライアスロンのキッズ大会は全国的には開催されているが、茨城県内では実施されていないので、龍ケ崎の独自性がある事業となるのではないかと。 ・トライアスロンは、「スイム」「バイク」「ラン」の競技であるが、「スイム」「ラン」のアクアスロンや「ラン」「バイク」「ラン」のデュアスロンという競技もある。大会は、会場の状況に応じて臨機応変に対応できるので、たつのこアリーナを活用したトライアスロンやアクアスロンが可能である。また、湯ったり館周辺では、デュアスロンが可能である。 	

団体名	NPO法人クラブ・ドラゴンズ
1. 活動（事業）を行う上での課題・問題点	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、会員数が全体的に減少している。特に、幼児及び小学生低学年が減少している。 ・財政面では、指定管理者の自主事業での黒字化は難しい状況であるが、会員制度の変更や雇用調整助成金を活用しながら、コロナ禍でも安定した運営を行っている。 ・活動場所として北文間体育館を利用することが多いが、他の利用者とのバランスに気を付けていきたい。 ・子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という総合型地域スポーツクラブの特徴を打ち出すとともに事業のスリム化を図るため、令和4年4月から教室のサブスクリプションを導入する予定である。これにより、会員はすべての教室を定額で受講することができる。 ・流通経済大学の運動部やゼミ単位での連携し、教室の充実及び流通経済大学生の参加促進を図っている。 ・今まで、教室の講師は流通経済大学関係者であったが、指定管理者としての自主事業で地域の方を初めて採用した。今後は、地域の方とも連携しながらクラブ運営することも必要であると感じている。 	
2. 龍ケ崎市の「スポーツの推進」の現状について	
<p>○評価できること、満足していること、継続していきたいこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と総合型地域スポーツクラブの連携が良くできている。他市町村と比較し、良好な関係を築くことができていると感じる。 ・活動の周知については、ホームページやSNS・教育委員会経由のチラシ配布で行っているが、交付金事業をコミュニティセンターで実施したことにより、口コミで参加者が増えている。 <p>○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団と連携したい。また、スポーツ少年団等の地域ジュニアチームの活動を圧迫せず、共存できるような活動をしていきたい。 	
3. 龍ケ崎市の「スポーツの推進」の充実に向けて（今後の方向性）	
<p>○期待すること、要望、アイデア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の運動部活動が地域へ移行するという流れの中で、総合型地域スポーツクラブとしての役割があると考えているので、教育委員会と情報を共有しながら連携したい。 	

団体名	龍ヶ崎市社会福祉協議会
1. 貴団体の障がい者のスポーツ・運動に関する活動内容等	
<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県ゆうあいスポーツ大会（知的障がい者対象）と茨城県身体障害者スポーツ大会（身体障がい者対象）が3年前に統合され、知的障がい者・身体障がい者・精神障がい者を対象とする茨城県障害者スポーツ大会が開催されるようになった。同大会への参加募集及び派遣を市からの委託事業として実施している。大会では、陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク、ボウリング、ボッチャ等の競技があるが、最近では、社会福祉協議会職員が普及していることもあるが、ボッチャの関心が高いように感じる。 ・令和3年度の茨城県障害者スポーツ大会については、9名の派遣を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となってしまった。また、例年、県大会には約20名程度の派遣をしており、新型コロナウイルスの影響により参加を見合わせる方がいたため参加者が減少した。 ・茨城県障害者スポーツ大会への参加募集については、市社会福祉課による市公式サイト等での周知、社会福祉協議会が運営しているひまわり園や民間施設への周知を行っている。 	
2. 貴団体の障がい者のスポーツ・運動に関する活動を行う上での課題・問題点	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、障がい者対象のスポーツ大会が中止となっている。障がい者は障がいだけでなく持病を持っている方や高齢の方もいるため、本人だけでなく家族の方も新型コロナウイルス感染に対する不安を抱えている。感染リスクを考えると中止せざる負えないのが現状である。 ・茨城県の大会へ引率する際は、参加者の突発的な発作や歩行困難者への対応、当日の体調管理（無理をさせない）等、参加する方への配慮が大変である。 	
3. 龍ヶ崎市の障がい者のスポーツ・運動環境について（現状）	
<p>○評価できること、満足していること、継続していくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツレクリエーションまつりでのボッチャやブラインドマラソンの体験は、障がい者からのニーズがあると思う。特に、ボッチャは、障がいの程度にかかわらず取り組みやすい競技だと思われる。ただし、社会福祉協議ではボッチャの用具を整備していない。 <p>○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記のスポーツレクリエーションまつりは周知の面がうまくいっていないのではないか。障がい者にとって必要な情報（送迎・介助者支援等）が不足していて参加を判断できないケースもある。また、ホームページ等の周知方法だけでなく、社会福祉課を経由して障がい者団体へ周知することが必要だと思われる。 	
4. 龍ヶ崎市の障がい者のスポーツ・運動の推進に向けて（今後の方向性）	
<p>○期待すること、要望、アイデア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市として障がい者スポーツの推進するためには、障がい者にとって目標や励みとなるような事業、例えばスポーツ大会の開催をプロジェクトとして取り組まないと進まないと感じる。また、障がい者には、移動手段やトイレ等の問題があり、そういったことを配慮したものでないと参加しにくい。 ・障がい者の方の声に出せない思い（ニーズ）を市の施策をどうつなげるかが課題である。 ・社会福祉課経由で障がい者団体の意見を聞いてみてはどうか。 	

団体名	龍ヶ崎市長寿会連合会
1. 貴団体の高齢者のスポーツ・運動に関する活動内容等	
<ul style="list-style-type: none"> ・長寿会連合会として、ペタンクや輪投げ、グラウンドゴルフやゲートボールの大会等を年2回（春・秋）開催している。 ・以前は色々なニュースポーツを行っていたが、ニュースポーツに詳しい中心メンバーが抜けてからは、徐々にやらなくなってしまった。H24年ころからはグラウンドゴルフ・ディスクゴルフは個別の団体として活動している。 ・各地区の長寿会において、長寿会本部から1単位地区1,000円の補助をもらい、バス旅行や輪投げ大会などを行っている。最近ではコロナ禍であまり開催できていないが、コロナ禍前までは全体の2/3程度の団体が補助金を利用していた。グラウンドゴルフの団体では、週2回の福祉センターや豊作村での練習、総合運動公園で行われる大会参加に延べ年間5,000人程度が参加している。 ・近年はゲートボールよりも、グラウンドゴルフが人気である。ゲートボールは団体競技であるが、グラウンドゴルフは単独でのスコアを競えるため参加し易いと感じている。また、自分専用のクラブを使用するためコロナ対策にも対応している。 ・各地区のコミュニティセンターで行われているシルバーリハビリ体操や元気アップ体操への参加が多い。 ・長寿会の活動は、高齢者の居場所を作りや仲間づくり、生きがいつくりなどを主な目的としている。現在最高齢で88歳の方も続けて参加している。 	
2. 貴団体の高齢者のスポーツ・運動に関する活動を行う上での課題・問題点	
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとっては、交通手段の確保が難しいため、身近なところで活動できる場所が必要である。また、誰かに誘ってもらえれば参加したいと思っている高齢者は多いが、現地まで行く足が無く諦めている者も多い。 ・交通手段が確保できない方は、各地区のコミュニティセンターや集会所を活用しての活動が中心となるが、イベント等の企画・運営を行ってくれる人材が不足しており、一部の会員に負担が集中してしまうことから、開催できずに活動が縮小している地区もある。 ・長寿会本部が主催するスポーツ大会に補助金も出しているが、近年はコロナ禍の影響で少なくなっている。 ・高齢者が参加し易いニュースポーツ等の用具を購入したいと思っても、長寿会では予算が少ないため難しい。以前使用していた用具はほとんど個人所有のものであった。 	
3. 龍ヶ崎市の高齢者のスポーツ・運動環境について（現状）	
<p>○評価できること、満足していること、継続していくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉センター（ふるさとふれあい公園）は、ゲートボールやグラウンドゴルフ、ディスクゴルフの専用コートが整っており満足している。 ・長寿会本部で定期的に大会を開催してくれており非常に感謝している。 ・補助金があるので各地区でのイベント開催で活用している。 <p>○評価できないこと、不足していること、変えていくべきこと 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉センターまで自転車や自家用車の乗り合わせで来る方、コミュニティバスを利用して来る方も多いが、高齢者にとっては交通手段の確保が難しく、大会やイベントが総合運動公園で開かれても参加者が限られてしまう。また福祉センターに来る場合もコミュニティバスを乗り継がないと来られないため、足が遠のく一因となっている。 ・身近な場所で活動ができる地元地区で、高齢者スポーツを楽しめるような公園がない地区もある。大宮地区には唯一上大徳新町に公園が1ヶ所あるが、高齢者が集ってスポーツを行えるような公園ではない。また、小学校やコミュニティセンターはあるが、その他近くにスポーツ施設はない。 ・各コミュニティセンターで行われているシルバーリハビリ体操等へ参加している高齢者もいるが、参加者が固定化されており、新規参加者が定着しない傾向にある。 	
4. 龍ヶ崎市の高齢者のスポーツ・運動の推進に向けて（今後の方向性）	
<p>○期待すること、要望、アイデア 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとっては、交通手段の確保は喫緊の問題だと思っている。運転免許証を返上する人も増えてくる。また、大会やイベントが総合運動公園で開かれても参加者が限られてしまうため、個々の地区で活動できるよう、各地区にスポーツができる公園やグラウンドを整備してほしい。 ・もっとコミュニティバスの路線が便利になれば、バス利用も増え、福祉センターやスポーツ施設に来ることができる高齢者が増えると思う。例えば、福祉センターまで乗り継ぎがない・遠回りしないで福祉センターまで来られる路線があれば良いかもしれない。 ・毎年、総合運動公園でグラウンドゴルフの大会が開催されているが、大会開催時には、高齢者はコミュニティバスが無料で乗れるとか、福祉センターとの往復で市バスが活用できると参加者も増えると思う。 ・各地区の公園で高齢者が参加できる市主催のイベントを行ってほしい。 ・予算もあると思うが公園の簡易トイレが和式なので洋式に交換してほしい。（高齢者には使いづらい）また、手洗い場もきちんとしたものがあると安心して利用できる。 ・福祉センター（ふるさとふれあい公園）のグラウンドゴルフ場を芝生にしてほしいという声もある。 	